

総括質疑

岩田よしあき 議員 (西区)

1. 人口減少社会に向けた取組み

Q 「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」を推進しており、少子超高齢化が加速する中、優先する神戸らしい施策を国内に発信し、居住に繋がらないか？



A 特徴的な施策を発信し、都市型創造産業・子育て世代の呼び込み・市への会社移転優遇・スタートアップ支援・空地空家活用等の取組みを加速する。

2. 都市型創造産業について

Q クリエーターが少ないため需要を賄えず、3千億円超が市外に流出している。市は「都市型創造産業」と位置づけ人材や事業創出の取組みを本格化する中、国際都市としてクリエイターを呼び込む施策は？

A アーティスト・クリエイターの拠点整備を支援し、民間から統括プロデューサーを選び支援ネットワークの創出を図る。

3. 学校司書の配置拡充について

Q 毎年30名ペースの配置で進めていたが、平成30年度予算では10校の配置に留まっている。厳しい予算内での配置ではあるが、継続して拡充願いたい。

A 現在246校中/110校（小中）配置している。欠員補充と増員をし、人材育成研修等を開催し、なるべく早く全校配置を目指す。

4. 国際会議 (MICE) の取組みについて

Q MICE関連の新たな事業を推進するため、組織改正を行い誘致の拡大を図っているが「みなと総局」「経済観光局」「神戸観光局」との連携や市として調整は？

A 大学等への訪問を増やす・シンガポールでの海外プロモーションを強化するなど、今後もアジアのビジネス会議や学会などとの連携を進める。

一般質問

大井としひろ 議員 (須磨区)

1. 須磨多間線について

Q 道路はネットワークで結ばれて初めて道路として活用される。十分なプロセスを踏むことは重要であるが、広い視点で見れば、特定の地域だけの問題ではないことから西須磨工区の早期整備が待ち望まれていると考えるがどうか。



A 今年度は、沿道の広いエリアの方々から意見をいただくなど、新しい取り組みも行い、「早期整備を行うべき」との意見も多く頂いた。また、「環境保全対策や交通安全対策をしっかりとすべき」、「周辺の市有地の活用も含め、よりよいまちづくりを考えていくべき」といったご意見・ご指摘もいただいている。平成30年度は住民の皆さまと話し合いを行っていくとともに、測量や土質調査などの現地作業に着手し、設計を進める。今後も引き続き住民の皆さまとの話し合いを丁寧に行いながら、早期に整備できるよう取り組んでまいります。

2. ビンの単独収集について

Q 4年後の全市におけるビンの単独収集に向けて、どのように取り組んでいくのか、ご見解をお伺いします。

A 全市実施にあたっては、市民への制度変更の周知と市民の協力が不可欠である。平成32年度から一部地域で試行し、当該地域住民の意見聴取を行うとともに、排出方法や収集頻度等について評価・検証を行う。平成34年度から全市展開を行う場合には、広報誌こうべをはじめとする媒体での周知・広報を行うとともに、地域住民の集まる場等さまざまな機会を通じて丁寧に説明を行い、市民の理解・協力が得られるよう取り組んでまいります。

予算特別委員会

各会計の予算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



副委員長

平木ひろみ (中央区)



藤原武光 (垂水区)



人見 誠 (北区)

●第2分科会



池田りんたろう (北区)



大井としひろ (須磨区)



副議長
川原田弘子 (垂水区)

●第3分科会



理事

永江一之 (灘区)



川内きよなお (垂水区)



岩田よしあき (西区)